令和2(2020)年7月1日発行　第113号

こびとのおうちえんLetter 7月号

たんぼドロンコプールを満喫した6月だった。
たんぼのドロンコに抵抗のある子も、気づけばドロまみれになって楽しんでた。川プールでざぶんと流してそのあと入るあったかおフロもきもちよかったね！
田植えのあとは、さっそく川プール開始。6/30.雨もようの中。ちょっと気温も低いのだけど、気づけばみんな服をぬいでスタンバってる!!! え!! そんなに! 13人。　きっとすぐにあがるだろう…。
そう思ってたのに、まぁ、あそぶ、あそぶ。なんか、その気力というか、気合いというか、ただ単純にやりたい！たのしい！の力というか。
いやぁ〜なかなかやりますなぁ〜。すがすがしい顔をしていた！

7月のスタッフプラン

○七夕の笹かざり作り　○海へいこう！

16日(木) おべんとうのひ〜皇積の海で泳ごう!!〜

※おべんとうの準備をお願いします。

7月のお母さんグループ

29日(水) 13:00〜15:00
場所 てらこや
内容 あっおさんTIME

参加される方は事前にご連絡下さい。当日でもOKです。

キッチンスタッフより

コロナも少しずつ落ち着いてきたのか？少なくとも山口県内では、元のような生活を取り戻しつつあるという家庭が多いかと思います。

先日てらこやで保護者の会(てらこやカフェ)がありました。自己紹介で、コロナ休暇中どのように過ごしていたか、というような話をしたとき、少なくない数の保護者が「時間に束縛されずやりたいことができてとても充実した満たされた時間だった」とか「自分たちが畑仕事をする傍らで子どもたちが遊ぶ、理想的な形だった」というように話していたことに、私は正直驚きました。(もちろん全員ではありません) 世界中で「コロナ禍」が叫ばれ、不安や不満をかきたてるような報道ばかりなのに…「あれは別世界なの？!」と思ってしまいました。　そして、なぜかわからないけど、急に20数年前にケニアで1年ボランティアをして帰国した頃の気もちが、心の引き出しから出てきたような感じがしました。　なんというか…価値観のずれに混乱していた自分を思い出したようなね。

ケニアから帰国した頃、私は端的に言えば「幸せって何？」ということがわからなくなっていました。「学校も病院も十分にはない子どもたちが多くいるいわゆる恵まれない国」から「学校があっても学びたくはない、そこでのいじめを苦に自殺する子どもたちが多くいる国」へ帰ってきて、「どちらが幸せなのか？」「幸せって何？」という定義をしようとして、戸惑っていたのです。

当時、いろいろ考えましたが、自分の結論としては「幸せは自分が決める」ということです。つまり、だれかと比べる幸せはキリがないし意味もない。ほかの人が理解できないような状況でも自分が最高と思えば最高。

私自身のコロナ休暇は、そんなに充実していたとは言えなかったと思います。東京や大阪に子どもがいることもあり、コロナ情報をいつも気にしてテレビを観て悲観的な気持ちになったり、のんびりはできたけど、どちらかと言うと、「こんなに時間あるんだからなんか意味のある日々にしないと！今しかできないことしないと！」と焦って終わったような気がします。

今回、コロナへの恐怖で大部分の人たちが戦々恐々と過ごす中、そうではなかった身近な人たちの価値観に触れ、あらためて自分の中の「幸せとは何か？」という思いが湧いてきたのだと思います。人と比べない、自分で決める幸せ…それが難しいのよ、と思いますか？「どう生きたいか？」なんて問われると緊張します。でも、「何をしている時が楽しいか？とりあえず今日何をしたいか？」それを考えることから始めようと思います。おうちえんの子どもたちは、毎朝それをやっていますよ。

大下里香

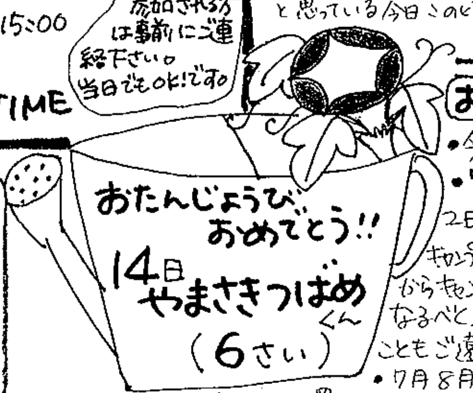
よしみさんのコーナー「今のわたし」

おうちえんが5月の連休明けから普通にスタートしてあっという間に7月が来る。季節はどんな状況でも関係なく移り変わり新緑から梅雨空へ、子どもたちと過ごす時間も今までとなにも変わらない。でもいまどうしようもなく心が沈んでいて、なかなかそこから抜け出せない自分が居る。今までも時々波のように気持ちの浮き沈みがあったのだけれど、コロナのお陰で急に生活のリズムが狂ってしまい、夫婦二人の生活で時間に余裕がある事が、返ってそうなっているのかも?! なんて、ただ更年期のホルモンのバランスの悪さのせいで、たまたま色々な事が重なったタイミングなんだと分かっているのにウジウジ考えてしまっている。元気にならなくちゃ！って思って焦って余計にどうしようもなくなる。

成長期に共通のホルモンバランスの変化で、とうにピークを超え以前の様には走り回る事はできないし、体の機能は衰えて出来ない事が少しずつ増えていきはするけれど、私であることに変わりない。そんなこと自体、普段心が元気なときには浮かんでもこないのに。

歳を取ってもその先に新たな何かがあると思えば悪くは無いのかもしれない。そうだ、考えるから浮かんでくるマイナスな思考！だから考えるのをやめよう！理由をつけるのもやめて、今はその低迷した気持ちを感じ無理をしないでおこう。そう長くは続かないと思うから。沈んで居ても喜怒哀楽はちゃんとあるからそこを感じていこう。と思っている今日この頃です。

岡部吉美



おしらせとおねがい

- 今年度の夏休みは 8/8(土)〜8/18(火)です。
- 7/18(金)〜19(土) 年長児キャンプです。どんな2日間になるのか楽しみです。近々、こどもたちとキャンプのミーティングします!! 7/18(金)は、通常保育後からキャンプになりますので、年中・少児の親御さんは、なるべく早めのお迎えをお願いします。尚、残って遊ぶこともご遠慮下さい。ご協力よろしくお願いします。
- 7月8月は、たくさん海に行くと思いますので、ライフジャケットを常時おうちえんに置いておけるようご持参下さい。
- 暑い季節です。ぼうし、サンダル(かかとつき)、きがえは、毎日持たせてください。また、服、持ちものに名前がないものが多くて困っています。もう一度見直してもらうようご協力ください。よろしくお願いします。

✿6月はこんなことしました✿

- 梅もぎ、梅シロップ作り
- 船若寺まで行く
- 酵素ジュース作り
- 鼓ケ浦であそぶ
- じゃがいもほり
- たんぼプール
- おふろに入る
- おたまじゃくしとり
- いもりとり
- たけのこを焼いて食べる
- 段ボールハウス
- 海まで歩く(用水路たんけん)
- さつまいもの苗うえ
- カレー作り
- くわの実とり
- ふねづくり
- なぎさ水族館へ行く
- 梅の下漬け
- 田植え
- 大豆のたねまき
- 川プール
- 竹折りさんぽ
- 杉菜づくり
- にわにあったかい温泉を作る

etc...

ようこのちょこっとおうちえん日誌〜日々のあれこれ〜

つばめ がようこにだっこさせてくれた！ピンと足をのばしたまま…
体は、ちょっとキンチョウしてたかな。
ぐるんとでんぐりも。うー、うれしいなぁ。
船若寺さんぽ中、ずっと魚の話してた。
いいかんじで先頭〜。(6/2)

うみ おにぎりの日。おかずを入れるところで年少さんたちが入れるのをみていてくれている。おかずの数とかをちゃんと数えてくれている。たすかった！
次の日、タコの下処理で、タコをめっちゃもみもみ〜していた。いっぱい笑ってた。(6/3)

ゆうき の舟がすてきだった。木がわれていて、そのわれてるところに梅がいっぱいつめてある。これを舟にして、川で流してあそぶ。午前中、たけるとやったみたい。午後もやりたいって。なので、私、こんどは川へいっていっしょにあそぶ。あかり ビーバー もはだしになって川へ入ってあそぶ。おだんごつくってる。るい が自分でつくったふねをうかばせにやってきた。ちゅうちょせずハダシになっておりてきて、自分のふねをすごくうれしそうに流す。うまく流れて楽しげ。(6/3)

ようこが ティピのおうちをつくっていて、おとなりの かおる レストランに、おうちまでおとどけばかりたのんでて、「きょうは、レストランで食べようと思ってきました〜」とたずねていったら、かおる「ようやくだねぇ」
どろプールからあがってきたメンバー。つばめ が ほのか のどろをきれいに流しておフロに入れてやっている。ともや には、「自分でお湯かけ」って言って ともや 自分で体流しながら「もうおちた？」とききながら、やってる。るく も。自分たちで考えてやっていて言うことなし。(6/16)

田んぼプール。ももこ が ひろのぶ をふねにのせてひっぱる。かのん みらい がドロの中でまったり。トロトロをたのしむ。
みらい は、ワニみたいにはいまわっている。
るい が かのん をふねにのせてひっぱる。
ひろのぶ も みらい みたいにワニになってはう。
るい かおもドロだらけ いいかおしてる！
ゆうき と ひろのぶ が2人でくっついてすわっているうしろすがたがすごーくかわいかった。(6/9)

大雨の中を歩くのはたのしい。ともや ろくた つばめ るい かおる ビーバー みらい といもりとり。いもり165匹!!
(6/..)